



議長

合併して20年、学校も良くなつたし、橋や道路も整備されてきていますが、済生会新潟県央基幹病院が開院したことが三条市民や県央地域の住民の皆さまにとっても一番大きなインパクトある事業だったのではないかと思います。

市長

医療は全員に関係があることです。済生会新潟県央基幹病院ができたことで、近くにクリニックが建つなど、そういった相乗効果もあると思います。

◆移住定住の促進

市長

移住を促進するに当たっても、医療体制の充実は非常にアピールできる場所ではないかと思っています。

議長

移住で三条市に来られる人にとっては、地域とのコミュニケーションが大変重要になります。都会とは雰囲気全然違いますか



地域おこし協力隊による自治会での除草作業サポート

ら、せっかく来たけれどこんなはずではなかったということにならないように、そういった部分をクリアしていけば、まだまだ移住定住が増えると思います。市長には、地域のコミュニティを大事にした政策をお願いしたいです。

市長

三条には昔から外の人を受け入れる文化があるのではないかと思います。私も都会に憧れて高校卒業

後は上京しましたが、戻ってみれば自然も人との交流もあってありがたいと思っています。

議長

地域のコミュニティにすんなり溶け込めるような雰囲気を作っていないといけませんね。

◆鳥獣害対策・災害対策

市長

クマの対策では、猟友会の皆さまを始め、関係各位に昼夜を問わず対応いただきました。スクールバスの拡充も、ドライバーがいたからできたわけですし、本当にいろいろな人に協力いただきました。クマは、出没が多い年とそうではない年がありますが、サルやイノシシなどによる農作物被害といった課題は継続するので、力を入れていかなければと思っています。

議長

昨年は、クマの出没が多発しましたが、クマだけでなく、サルやイノシシによる農作物被害もだいぶ



鳥獣監視員の活動

あるようです。クマ対策は、議会としても大きな課題と捉えています。

三条市はこれまで大きな災害を何回も経験している中で、近年大きな災害はありませんが、災害対策というのは、災害直後は頭にあっても、だんだん忘れていくのかなという気がします。時が経てば記憶も薄れると思いますが、いざという時に役に立つ毎年の防災訓練をしっかりやっていただきたいと思っています。

市長

今年の7月には、7・13水害から22年が経ちます。当時大卒で入庁した職員は現在44歳で、43歳以下

